

あおぞら

行方市 社協だより

No.24 2012.3.1

— 発行者 —
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会

住所 茨城県行方市玉造甲403番地
☎ 0299 (36) 2020
FAX 0299 (55) 4545
URL <http://www.yokattanet.jp>



行方市社会福祉大会より（関連記事はP2～3）

P12

善意銀行・編集後記

P11

地域活動支援センター
ドリームハウス
お知らせ

P10

はじめての手話

P8-9

ボランティアグループ
紹介

P7

行方市ボランティア連絡
協議会全体研修会
高次脳機能障害

P5

日常生活自立支援事業

P5

いきいき長寿者紹介

P4

赤い羽根共同募金報告

P2-3

行方市社会福祉大会

目次

平成二十三年度行方市社会福祉大会

東日本大震災を乗り越えて「がんばっぺ！行方」

行方市社会福祉大会が一月二十八日（土）、行方市文化会館において約五百名の参加のもと開催されました。昨年は東日本大震災が発生し、例年以上に「絆」の大切さを実感する年になりました。また、全国各地のボランティアのみなさんをはじめ多くの社会福祉関係者のみなさんが被災地の支援活動を行い、現在も続いています。こうした社会情勢を踏まえ、「東日本大震災を乗り越えて」〜がんばっぺ！行方〜を大会スローガンとして、第一部では式典、第二部ではおもいやりコンサートが実施されました。

また、併せて行方市国民健康保険優良世帯表彰も行われました。（五十二世帯）受賞者の方々をご紹介します。（敬称略・順不同）

（団体）

- ・よもぎ会
- ・一三三会
- ・朗読ボランティア虹の会
- ・北浦唄と日本舞踊友の会
- ・さくら舞踊会
- ・麻生高光会
- ・ひだまり
- ・手話サークルみんなの手
- ・絵手紙同好会
- ・かいつむりの会
- ・人形劇団つくしんぼ
- ・天神里の会
- ・麻生保護区更正保護女性会
- ・北浦支部
- ・麻生地区給食ボランティア
- ・太田地区給食ボランティア
- ・大和地区給食ボランティア
- ・行方地区給食ボランティア
- ・小高地区給食ボランティア
- ・麻生保護区更正保護女性会
- ・玉造支部

○行方市社会福祉協議会長感謝状
社会福祉活動を積極的に援助した個人及び団体

（個人）

- ・飯島 孝雄
- ・井川 芳男
- ・辺田 茂雄

（団体）

- ・鹿行砂利採取連絡協議会

○行方市社会福祉協議会長表彰状
民生委員・児童委員

- ・切島 キヨ
- ・大原 孝
- ・寺田 美千代
- ・香取 篤澄

社会福祉活動に功績顕著な個人及び団体

（個人）

- ・八文寺 礼子
- ・加固 定子
- ・掛田 里香
- ・磯山 節也
- ・栗原 文子
- ・井野場 洋子
- ・石橋 展子

第一部の式典では、民生委員・児童委員をはじめ、社会福祉活動に功績のあった個人・団体の方々が、行方市社会福祉協議会長より、表彰状ならびに感謝状を授与されました。

また、併せて行方市国民健康保険優良世帯表彰も行われました。（五十二世帯）受賞者の方々をご紹介します。（敬称略・順不同）

- ・よもぎ会
- ・一三三会
- ・朗読ボランティア虹の会
- ・北浦唄と日本舞踊友の会
- ・さくら舞踊会
- ・麻生高光会
- ・ひだまり
- ・手話サークルみんなの手
- ・絵手紙同好会
- ・かいつむりの会
- ・人形劇団つくしんぼ
- ・天神里の会
- ・麻生保護区更正保護女性会
- ・北浦支部
- ・麻生地区給食ボランティア
- ・太田地区給食ボランティア
- ・大和地区給食ボランティア
- ・行方地区給食ボランティア
- ・小高地区給食ボランティア
- ・麻生保護区更正保護女性会
- ・玉造支部

（団体）



挨拶を述べる行方市社会福祉協議会長

藤田さんは、子どもたちとの大合唱ツアー「OMOIYARI音楽会〜日本列島を思いやりでつなぐ旅〜」を全国五十ヶ所以上で実施されています。今大会においても、市内の手話ボランティアグループ（みんなの手・相^{あひあい}生^い会・ほたる^ひ灯）のみなさんと一緒に手話を交えて、そして行方市地域活動支援センター（ドリームハウス）のみなさんはコーラスとして参加し、OMOIYARIのうたを大合唱しました。この大会に向けて手話



受賞者のみなさん

第二部は、ル・クプルの藤田恵美さんを迎え、おもいやりコンサート（チャリティー）を行いました。

グループ及びドリームハウスのみなさんは猛練習をされたそうです。練習の成果が発揮され、藤田さんを中心に、小さいお子さんからご年配の方まで老若男女の歌声が響き渡りました。舞台では大迫力の公演、会場はそれに見入る観客のみなさん。まさに一体となり、終了後には割れんばかりの大きな拍手と歓声がわきあがりコンサートは終了しました。



一緒に手話をする来場者のみなさん

最後には来場者のみなさんにチャリティーにご協力いただき、合計3万1387円が集まりました。今後の福祉活動に役立たせていただきます。誠にありがとうございました。



OMOIYARIのうた



謝辞を述べる小貫敏子さん（朗読ボランティア虹の会）



瀬尾理事による大会宣言



藤田恵美さん

たくさんのやさしい気持ちありがとうございました ～平成23年度赤い羽根共同募金～

募金総額 4,729,161円

平成24年1月31日現在

○戸別募金（各世帯からの募金です。）	4,233,250円
○街頭募金（スーパーの入口等でお願いをする募金です。）	10,076円
○学校募金（保育園、幼稚園、小・中学校にお願いをする募金です。）	280,806円
○職域募金（団体、官公庁等の職場にお願いをする募金です。）	48,187円
○イベント募金（様々なイベント参加者にお願いをする募金です。）	64,555円
○設置募金（企業、団体等の窓口に設置する募金です。）	45,837円
○その他募金（上記のどこにも当てはまらない募金です。）	46,450円

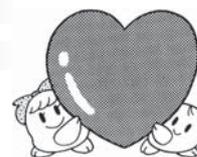
共同募金運動を実施するにあたり区長、班長、企業、中学校、小学校、幼稚園、保育園、ボランティアの皆さんを始め、多くの方々のご協力により実施することができました。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

皆様からご協力をいただきました募金は、有効に活用させていただきます。



イベント募金（あきんどまつりにて）

♡♡ 歳末たすけあい事業



除草作業の様子

赤い羽根共同募金によりご協力いただきましたなかから、市内全域において支援を必要としている方々（高齢者世帯、障害者世帯等）がすがすがしい気持ちで新年を迎えられるよう歳末たすけあい事業を実施いたしました。

事業の取りまとめにおいては民生委員の方々、事業実施においては行方市シルバー人材センター会員の方々にご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

お問合せ 共同募金会行方市支会（行方社会福祉協議会内）

☎0299-36-2020

いきいき長寿者紹介

金井サクさん（行方市諸井）96歳



金井サクさん

「何を話せばいいんだい？」

ご自宅を伺うとサクさんは日課である鶴を作りながらそう話してくださいました。鶴といってもいわゆる折り紙の鶴ではありません。一枚の紙から様々な大きさ、色、形を切りだして、それを組み立てていくいわば模型に近い作品です。（ちなみに老眼鏡は必要ないそうです）鶴の他にはくす玉も作っているそうです。大量の紙が必要なため、チ



サクさんの作品の一部

ラシ、包装紙などは捨てずに必ずとっておくそうです。そのため贈り物をいただいても、「中身より包装紙が目がいってしまつ」と笑って話してくださいました。

金井さんは武田村（現在の北浦地区の北部地域）で生まれました。若いころは機織りの仕事

などをされ、東京で過ごした時期もあったそうです。そのような折、戦争が始まりこちらに戻ってこられました。当時は大変苦労したとおっしゃっていました。

六十歳を過ぎてからは老人クラブに入り、ほぼ毎日のようにグートボールに熱中したそうです。そのため他の老人クラブからも声がかかり、助っ人として活躍することもしばしば。「現在このように元気でいられるのもグートボールで足腰が鍛えられたおかげかな」とおっしゃっていました。

現在ではグートボールはされていませんが、健康のために散歩や、家の中の階段を昇り降りしたりしているそうです。また、近所的美容室に出かける際も徒歩で行っているそうです。健康の秘訣は何ですかと伺ったところ、「規則正しい生活かな。あとは好き嫌いなく食事をする事。天ぷらやふなが好きなんだ」と答えてくださいました。

そんなサクさんには昨年非常にうれしいことがあったそうです。

す。日頃から作りためておいたくす玉を保育園にプレゼントしたところ、園児からお礼のメッセージ帳が届きました。「園長先生はじめ園児のみんながわざわざ自宅まで持ってきてくれた。こんなにうれしいことはない。宝物として大事にしているよ」と満面の笑みであっしやっていたのが非常に印象的でした。

人を妬まない。素直でいる。そして人を喜ばす人間でありたいとおっしゃっていたサクさん。これからもお体に留意されますますのご活躍をご期待申し上げます。



園児から送られたメッセージ帳

日常生活自立支援事業って何？

あなたの暮らしをサポートします

福祉サービスを利用したいけれど、手続の仕方がわからない。銀行に行ってお金をおろしたいけれど、自信がなくて誰かに相談したい。商品勧誘の人が来たとき、どう対応していいかわからない。

毎日の暮らしのなかにはいろいろな不安や疑問、判断に迷ってしまうことがたくさんあります。日常生活自立支援事業は、このような場合に福祉サービスの利用手続きや、金銭管理のお手伝いをしてあなたに安心して暮らせるようにサポートします。

どんな人が利用できるの

自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方や、お金の管理に困っている方などが利用できます。具体的には認知症高齢者、知的障害者、精神障害者などで判断能力が不十分な方が対象になります。また、そのような方が施設や病院に入所、入院した場合でも利用できます。

どんなサービスがあるの

福祉サービス利用の申込み、契約手続き、日常的なお金の出し入れ、預金通帳の預かりなどのお手伝いをします。

(例)

- ・福祉サービスの利用における申込み、契約の代行、代理
- ・福祉サービス利用料金の支払い代行
- ・日用品購入の代金支払いの手続き
- ・預金の出し入れ、また預金の解約の手続き
- ・保管を希望される通帳や印鑑、証書などの預かり など

サービスの利用に費用はかかるの

相談は無料、サービスは有料です。原則として福祉サービスの利用援助及び日常的金銭管理サービスに伴う費用は1時間あたり900円、書類などの預かりサービスについては、1ヶ月あたり500円を負担していただきます。

お問合せ

地域福祉係

☎ 0299 (36) 2020



大切なのはご近所さん

〓行方市ボランティア連絡協議会全体研修会〔

平成二十三年度の行方市ボランティア連絡協議会全体研修会が、十一月二十七日(日)に麻生公民館大ホールに於いて約百十五名の参加者のもと開催されました。

第一部は、代表ニグループによる活動発表。麻生地区は「人形劇団つくしんぼ」による大型紙芝居で「麻生の民話」を上演、北浦地区は「水府流吟道吾風会北浦支部」による詩吟の披露、玉造地区は「かいつむりの会」の湖岸清掃活動の報告が行われ、それぞれのサークルの活動状況が伝わる発表となりました。

第二部の講演では、北茨城市ボランティアグループ連絡会相談役、久保田三枝子氏より「つなげようみんなの思い」と題した講演で今まで実践されてきたボランティア活動の紹介がありその後、昨年、三月十一日に発生した東日本大震災での活動報告についてお話しくださいました。

北茨城市は、津波の被害も甚大で避難所へ避難されている方も大勢おられ長期間の避難所支援の状況などを説明いただきました。

被災者の方たちこのふれあいを感じたことなど、実際に災害ボランティア活動をされた立場でのお話に心が打たれました。

また、災害時にまず最初になたを助けてくれるのは、自衛隊でも警察でもレスキュー隊でもなく、「ご近所さん」であるという事実、日頃の地域づくりが災害時にもいきるといふことなどのお話を聞く事が出来ました。



講演する久保田三枝子氏

ご存じですか? 高次脳機能障害

高次脳機能障害とは

病気や事故で脳を損傷したことによる記憶・注意力・遂行機能などの認知障害のため、日常生活や社会生活への適用が困難な状態となり、外見では分かりにくい障害で「見えない障害」とも言われています。

原因は

〇脳血管障害によるもの、脳外傷によるものがあります。

症状は

脳にダメージを受けることにより、記憶、注意、遂行機能などの認知機能や、感情などの情緒機能に障害が発生します。

具体的には

- 〇記憶障害・物を置いた場所を忘れる・何度も同じ質問をする
- 〇注意障害・作業ミスが多い、気が散りやすい
- 〇遂行機能障害・行き当たりばつたりの行動をする・指示がないと動けない
- 〇行動や感情の障害・突然行動する、気持ちごとく沈み込む
- 〇見当識障害・近所で道に迷う・

自宅のトイレの場所がわからない

〇失語・うまく話すことができない・字が読めない・書けない

〇失行・道具がうまく使えない・指示した動作ができない・言葉を聞いても理解できない

〇失認・物の形や色が分からない・よく知っている人の顔がわからない

〇半側空間無視・食事の片側を残す・片側にあるものに気づきにくい

などがあります。また、症状は人により異なり、同じ人であっても時間の経過とともに症状は変化します。

対処法は

高次脳機能障害に対する共通の対処法はありません。治療、生活、就労などそれぞれの場面において、各人に必要な支援を適切に行っていく必要があります。

高次脳機能障害に関する相談

茨城県立リハビリテーションセンター
☎ 0296 (78) 2605

ボランティアグループ紹介

やさしさ集うクリスマス会

ひだまり 菅谷 京子

「こんにちは！今年もこられて良かったよ」「みんなに会えるのが楽しみだね」と参加してくれたひとり暮らしの皆さん。あたたかい陽だまりのような地域をつくるうとわたしたちの活動は始まりました。温かいお弁当を届ける給食サービス、そして交流を深め合う遠足とクリスマス会です。

昨年12月25日、沖洲集落センターに楽しいクリスマスソングと笑い声が響きました。このクリスマス会も今回で13回目、皆さん毎年心待ちにしてくれています。料理は前日からの仕込みです。メニューはロール白菜、茶碗蒸し、手作りショートケーキ、揚げたての天ぷらなど「おいしいネ」の笑顔に会いたくて、作る手にも力がはいります。区長さんや民生委員さんのユーモアたっぷりのお話に和んだところで、今回の目玉はオカリナの

グループ「たんぼぼ」の皆さんの演奏です。やさしく語りかけるオカリナの音色にうっとり聞き入りました。そして皆で歌うコーナーでは懐かしい歌のパレードです。「赤とんぼ」「ふるさと」等・おおきな声で歌い



演奏に聞き入る参加者のみなさん

ました。みんないい顔です。感動を胸いっぱいにして、手には好きな色のシクラメンを抱え、「ありがとう。がんばって来

年も来るからね」と言ってくれました。私達にとつて何よりもうれしい一言でした。あたたかい笑顔が集まった一日でした。



演奏の様子

ボランティアグループ紹介

美しい風景を後世に かいつむりの会 代表 藤本 宗男

「ここへ来ると気持ちが悪くて
ゆっくりするよ」ある年配の方
の言葉です。沖洲湖畔の「ほほ
えみの浜」は四阿（あづまや※）
のベンチに腰を下ろすと砂浜と
霞ヶ浦の見えるきれいな場所
です。



四 阿

※阿には棟の意味があり、屋根
を四方におろした小屋をあらわ
します。



ほほえみの浜

堤防のゴミの山のひどさに見
かねて清掃を始めたのがきっか
けで仲間が集まり、「かいつむ
りの会」が出来ました。「かい
つむり」とは「カイツブリ」と
いう水鳥の名前が由来になっ
ています。魚を獲るのが上手で良
く働くそつです。会の名前には
この「かいつむり」のように地
道ではあるけれど、精一杯やっ
ていこうという思いが込められ
ています。発足は平成14年3月、
会員は現在16名です。

私達の活動の目標は「原風景
のよみがえり」です。そのため
霞ヶ浦湖岸保全及び環境美化活
動を行っています。具体的には
堤防周辺のヨシの保護刈り、草
刈り、ゴミの収集、死魚の処分
などです。また、子ども会と合
同で清掃活動も行っています。
それらの活動が認められて、平
成19年には国土交通大臣より
「手作り郷土賞」をいただくこ
とができ、その後砂浜（ほほえ
みの浜）も完成しました。現在
では砂浜を一望できる場所にベ
ンチ、テーブル、ポプラ、花壇



清掃活動の様子

などがあります。昨年は会員で
四阿（あづまや）を建てました。
家に引きこもりにならずに、息
抜きになればと思っています。
活動のモットーはボランティア
であっても結果を出すこと
（喜んでもらうこと）と長く続
けることです。これからもこの
二つを念頭におきながら活動し
ていきたいと思っています。

はじめての手話

みなさんは手話と聞いて何を思い浮かべますか？難しそうや、覚えるのが大変そうというようなイメージでしょうか。ですが、みなさんは自然に手話を使っていることがあります。例

れば、2つの動作を組み合わせてあらわすものもあります。今号からイラストを交えていくつかの手話を紹介したいと思います。ぜひチャレンジしてみてください。

市内において活動している
手話サークル
みんなの手（麻生地区）、相生
会（北浦地区）、ほたる灯（玉
造地区）があります。手話に興
味を持たれた方はぜひご連絡く
ださい。

お問合せ 地域福祉係
☎0299（36）2020

①お金



右手2指で輪を作り、腕を立てて「お金」を示す

③ごめんなさい



つまんだ右手2指の指先を眉間にあて、

④おはようございます



こめかみにあてた右手拳を下ろすと同時に頭を起こし、まくらから起き上がるイメージ

⑤こんにちは



立てた右手2指を重ねて前方から額の中央へあて、（顔を時計に見たてて、正午の様子）

⑥こんばんは

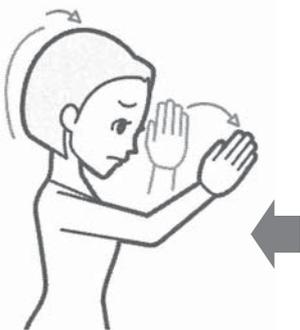


掌を前へ向けた両手を左右から引き寄せ、目の前で交差させ（周りが暗くなっていくイメージ）

②ありがとう



左手甲に小指側を直角にのせた左手を上げながら頭を下げる



頭をさげ、顔前で斜めに構えた右手を少し前へ出す



胸前で向かい合わせて立てた両手人差指を同時に曲げる（指を人に見たてて、向かい合っ
ておじぎするイメージ）



胸前で向かい合わせて立てた両手人差指を同時に曲げる（指を人に見たてて、向かい合っ
ておじぎするイメージ）



胸前で向かい合わせて立てた両手人差指を同時に曲げる（指を人に見たてて、向かい合っ
ておじぎするイメージ）

障害者地域活動支援センター「ドリームハウス」

《ナイスハートフェスティバル》

12月10日（土）に、常陸太田市民交流センターにてナイスハートフェスティバル2011に参加してきました。センターでは、月2回クラブ活動（音楽・押し花・書道）を行っています。音楽クラブでは、ハンドベル演奏を発表しました。少し緊張しましたが、楽しんで演奏することができました。押し花・書道クラブでは、作品を出品しました。自分たちの作品が展示されているのを嬉しく思いました。

年に一度のこういった機会を通して日頃のクラブ活動をさらに充実したものにしていきます。



出品した作品の一部

ご利用に関してのお問い合わせ等

行方市社会福祉協議会麻生出張所
☎ 0299(80)6661

行方市障害者地域活動支援センター 「ドリームハウス」

〒311-3832
行方市麻生2744-23
☎ 0299(72)0054

車いすをご活用ください

一時的に車いすが必要となった方に車いすの貸出を実施しています。

対象者：行方市在住で病気やケガ及び障害者や高齢者などの方で一時的に必要となった方

貸出期間：原則として3ヶ月以内

料金：無料

その他：要予約



訪問歯科診療器具貸出事業

在宅に訪問して歯科診療を行う歯科医の方に対して、ポータブル訪問歯科診療器具の貸出を実施しています。

対象者：行方市に事業所の住所を有する歯科医の方

貸出期間：訪問診療を行う期間

料金：無料

その他：要予約



お問合せ：在宅福祉係 ☎0299(36)2020

行方市善意銀行

平成23年11月1日から平成24年1月31日までに善意をおよせいただいた方々を紹介いたします。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

ご指定いただいた寄付につきましては、指定の福祉事業に使わせていただきます。皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

皆さまからの寄付金 (順不同・敬称略)

一般寄付金

預託者名	金額(円)	指定先
よもぎ会	11,430	無指定
飯島孝雄	50,000	無指定
文化協会ダンス部	20,950	北浦
玉造公民館 パン作り教室	2,000	無指定
行方市畜産まつり運営委員会	129,021	無指定
行方市職員組合北浦バレー部	44,393	無指定
行方市立太田小学校	5,000	無指定
玉造生活大学	34,000	無指定
麻生地区カラオケ連合会	81,563	無指定
永作忠一	50,000	無指定
ゴスペルを歌う会	26,658	無指定

善意の預託品

預託者名	預託品	指定先
水戸ヤクルト販売(株)	簡易テント3張り	無指定
匿名	砂糖14kg	給食サービス
麻生保護区更正保護女性会	シクラメン2鉢	無指定
宮本キミ	タオル100本	無指定
(株)A-1建築事務所	使用済切手276枚	無指定

指定寄付金

預託者名	金額(円)	指定先
吉田好実	10,000	北浦
青木喜隆	20,000	北浦
鈴木宏	20,000	北浦
高柳譲司	20,000	北浦
高柳貞治	20,000	北浦
高柳正則	20,000	北浦
高正政明	20,000	北浦
横田基	20,000	北浦
額賀一夫	20,000	北浦
横瀬暢也	20,000	北浦
小松崎三郎	20,000	北浦
東山健一	10,000	北浦
藤崎則夫	10,000	北浦
石上純子	30,000	北浦
宮本芳枝	20,000	北浦
宮本美代	10,000	北浦
原清治	20,000	北浦
白戸利明	20,000	北浦
額賀忠和	20,000	北浦
水野耕寿	10,000	北浦
額賀哲男	10,000	北浦
東山博	20,000	北浦
掛田十二	10,000	北浦

故人のご冥福をお祈り申し上げます。



水戸ヤクルト販売(株)



麻生地区カラオケ連合会



麻生保護区更正保護女性会



編集後記

梅の花もほころびはじめ、春の気配も少し感じる時期になりましたが、今年の寒さは近年にない厳しさで、まだ冬のほうが勝っている感じがします。

東日本大震災から1年になります。停電、断水、電話の不通、ガソリン不足等、現在の生活では考えられない不便な生活。被害の大きい被災地に比べればたった三日間だったのに、我が家の備えの貧弱さに買い求めた飲料水、手回し電灯、LEDランタン、乾電池、携帯ラジオ等。余震が少なくなる

と少しずつ隅のほうへ。

最近の地震の多発に、あれはこれとは探す自分にあきれています。賞味期限の見直し、電灯、電池の子エックをし、保管場所を決めて災害に備えたいと思います。なるべく出番がないことを願いながら。

(代々城広報委員)

広報委員

委員長	城山文男
副委員長	菅澤トヨ
委員	大久保守子
	菅谷京子
	小貴敏子
	大軒光江
	山崎實
	石橋展子
	代々城千尋
	小峰宏信